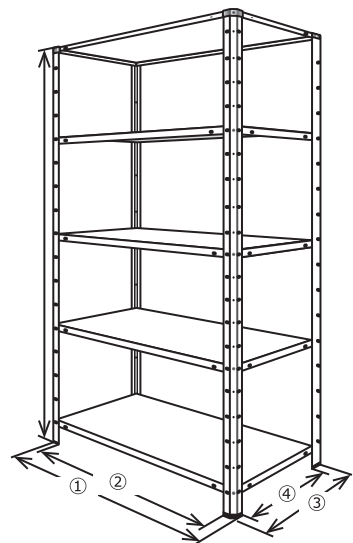


KTラック5段

KT1-70 型
【耐荷重 70kg】

KT-150、1～4型用
【耐荷重 150kg】

組立説明書



このたびは、キタジマスチール棚をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。この商品は、組立式です。組立前に部材明細と、中の品物が全て揃っているかご確認ください。この「組立説明書」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

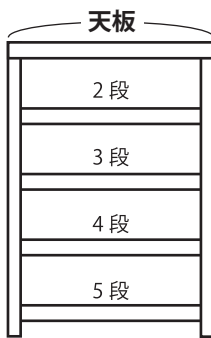
ワンボルトタイプ・KTアングル“北島特許商品”

※KT-1-70【耐荷重 70kg】には棚板に補強がありません

注) 天板には物を載せないで下さい！

有効外寸

- 高さ (mm)
 - 間口
 - ①間口 (mm) + 8mm
 - ②間口 (mm) - 65mm
 - 奥行
 - ③奥行 (mm) + 8mm
 - ④奥行 (mm) - 65mm
 - 棚板の高さ 36mm
- ※本説明書は 5 段用になります



準備

大人二人で組み立て作業をおこなってください。ひと通りの手順を確認してから、組み立てをして頂くとスムーズに作業ができます。



- 付属の組立工具
- 軍手
- 組立説明書
- 脚立・台 (背の高いラックの場合に便利です)



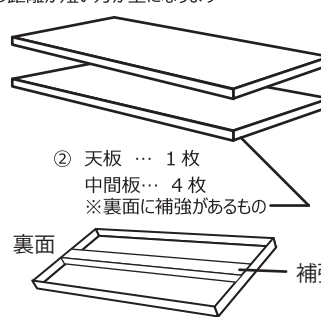
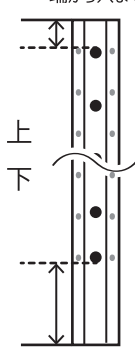
QRコードで
組立動画を
御覧頂けます

部材確認

ご注文いただく商品によって個数等が違いますのでご確認ください。

※パーツは無くさないようご注意ください。特にボルト・ナットは取り忘れ等が無いようご注意ください。

- ① アングル (支柱) … 4本
端から穴までの距離が短い方が上になります



※KT-1-70 には補強ありません

- ② 天板 … 1枚
中間板 … 4枚
※裏面に補強があるもの
- ③ 天板用押さえ金具 … 4枚
- ④ 内側専用金具 … 20枚
- ⑤ ボタンボルト 6×15 … 20ヶ + 予備 1ヶ
- ⑥ 組立工具 (六角レンチ 4mm) … 1本
- ⑦ アングルキャップ … 4個



安全にお使いいただくために！

組み立てについて

- 組み立ては、広い場所や周囲に人がいない等、**安全の確保できる場所**で行って下さい。
- 安全のため、床に寝かせて組み立てて下さい。
- 付属の部品などを無くさないよう注意してください。
- 棚板の間隔は、転倒防止のため上部へかたよらないよう、(ほぼ均等間隔になるように設計して下さい。(最下段は下から 15cm 以内に取り付けてください))
- 棚板を裏返しにして使用しますと、強度が半減しますので、**裏返しにしての使用は避けてください。**
- ボルトを強く締め付ける前に、棚の水平と垂直を確認しながら組み立てて下さい。棚がねじれたままで締め付けますと、安全性やおさまりが悪くなります。
- 締め付けには 40kg・cm ~ 50kg・cm の力が適当です、これは付属のレンチで軽く回し負荷を感じてから半回転 (180°) 位締め付けた力が目安です。(金具からネジ先が 4 山出ている状態) 締め付けが弱いと、棚の傾きや転倒に至るおそれがあります。
- 「ボルトの締め忘れ」「ボルトのゆるみ」は、非常に危険ですので、**完成時に 今一度「忘れ」「ゆるみ」がないか必ず確認して下さい。**

設置について

- 床面の**しっかりした場所に設置**してください。軟弱な床面や不安定な床面には設置しないで下さい。棚が水平で垂直になるように設置して下さい。
- **転倒の恐れのある「安定の悪い場所」「高い場所」「振動する場所」「強風のあたる場所」**には、置かないで下さい。
- 設置後の棚の**周囲に、ショートするおそれや火災の原因**になるようなものは、据え付けしないで下さい。
- 湿気の多い場所で長い間ご利用になりますと、**錆が発生**することがありますのでご注意ください。
- 極端な温度条件や、急激な温度変化のある場所での使用は避けて下さい。

設置方法

- 転倒防止の為、棚は「**壁面に接するように**」設置することをお奨めいたします。
- 棚を設置する際に、地震等による転倒に備えて**転倒防止の措置**を行って下さい。
- 建物の壁・床・天井などに、固定用部材などを**しっかり固定**して下さい。
- 棚を 2 台以上並べて設置する場合は、ボルトなどで棚と棚を**連結**すると安定性が増します。
- 棚は、**水平・垂直を保つ**ように設置して下さい。ガタツキのあるままご使用になりますと、転倒したり、転倒によるケガの原因となることがあります。

使用方法について

- 耐荷重は、棚板一段分 (キャスター付きは 1 台分) について、たわみ量 5/1000 L の範囲内で計算しています。耐荷重を超えて使用しないで下さい。
- 棚の耐荷重および総積載重量 (キャスター付き) は、平均静止荷重で表示していますが、強度は棚の使い方によって異なりますので目安としてご利用下さい。
- 棚の片側だけに荷重がかたよらないように、お使い下さい。
- 棚の安定性が悪くなりますので、物が棚からはみ出さないように載せて下さい。
- 転落の危険がありますので、**不安定なものは載せないで下さい。**
- **水槽**など割れ物や、**危険物**は載せないで下さい。使用する場合は自己責任でお願い致します。
- 棚以外の目的で使用しないで下さい。
- 棚に乗ったり、登ったり腰かけたり、踏み台などに使用しないで下さい。
- キャスター付きの棚に乗って遊ばないで下さい。
- 組み立て説明書に記載していない改造はしないで下さい。

キタジマ

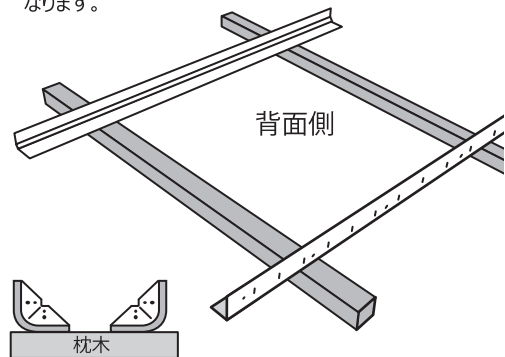
北島株式会社

〒577-0815 大阪府東大阪市金物町 3 番 4 号
TEL 06-6723-1171 / FAX 06-6723-1182

KTラック5段 組立手順

1. アングル(支柱)の配置

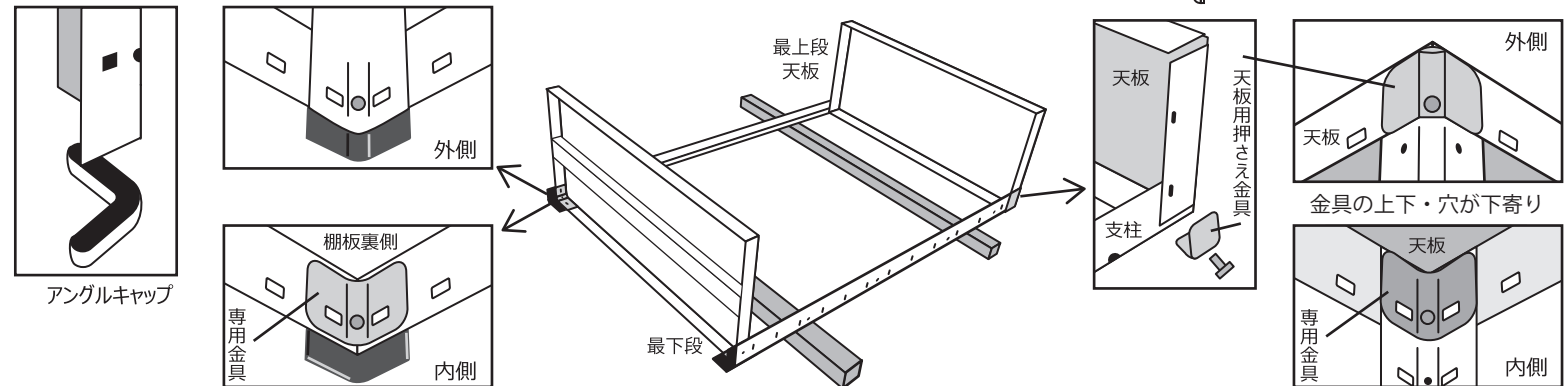
- キズ防止及び、ボルトを入れやすくする為、枕木の役目となる棒等を用意します。
- 枕木の上にアングル(支柱)を2本寝かせるようにして配置します。この2本のアングルは、背面側のアングルとなります。



- 枕木は以下のもので代用できます。
- ・木製の角材 ・厚めの雑誌や書籍
- ・ティッシュの箱
- ・ダンボールを丸めてテープでとめたもの etc

2. 最上下段棚板とキャップの取り付け

- 支柱にキャップをはめ込みます。(支柱は端から穴までの距離が短い方が上になります)
- 最上段…棚板を立て、アングルの1番上の穴に外からかぶせるように天板(注1)を取り付け、天板の外側に天板用押さえ金具をボルトで仮どめます。(手で締め付ける程度)

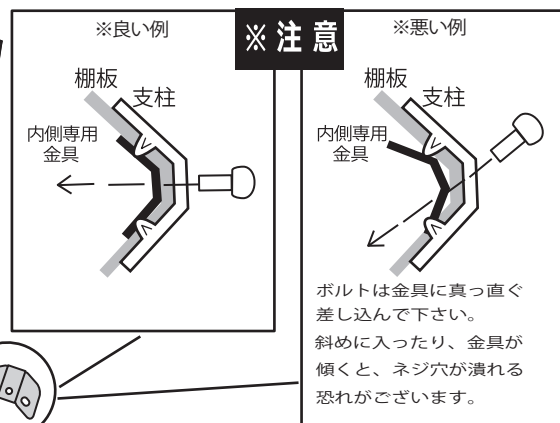
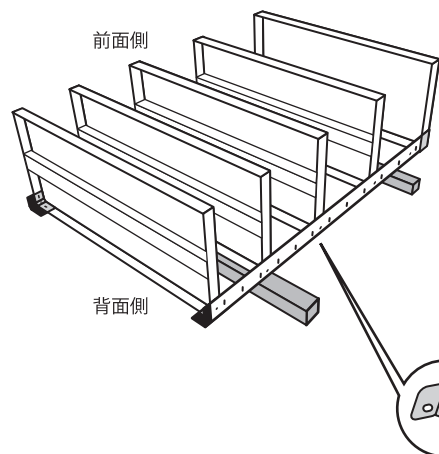


- 注1. 少し大きめの棚板(補強なし)が天板で、補強付きが中間板です。
- 注2. KT-1-70には棚板に補強がありません。

- ※注意 レンチはボルト穴に、垂直に深く差し込んで使用して下さい
- 棚板の外側に天板用押さえ金具をあててボルトを入れ、内側に合わせた専用金具に取り付けていきます。

3. 中段の取付後、アングル(支柱)を取付け

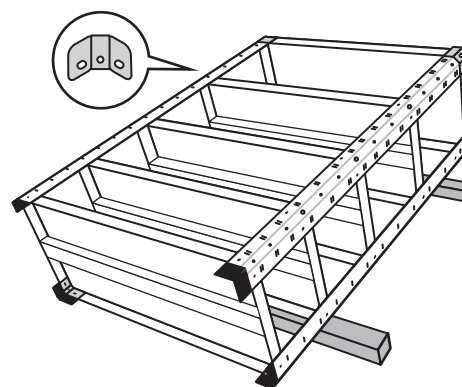
- 棚板がほぼ均等になるように配置し、2段目からは支柱の内側に順番に取り付けていきます。棚板が倒れない程度にボルトを締めてください。



- ポイント! 支柱の内側の凸部分が、内側専用金具の穴としっかりとあうようにし、支柱とのスキマなくセットしてください。(上記図のようにならないと振れが止まりません)

4. 最下段を本締め後、棚を起こす

- 残りのアングルを棚板の隅に沿わせて置き、背面側と同じ要領で仮どめます。この2本のアングルは前面側のアングルとなります。



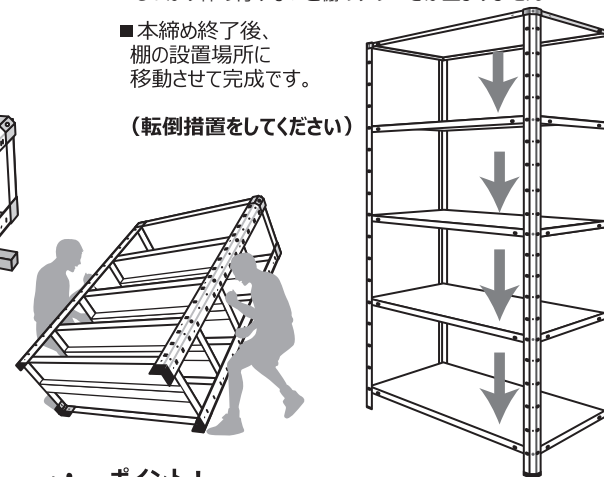
- ポイント! ボルトが金具穴で止まる場合は無理に締めず、一度戻して再度締め直して下さい。

5. 残りを本締め(完成!)

- 最下段のみ本締めをし、棚を起こします。棚を起こすときは、傾いて倒れないように充分にご注意下さい。(2人以上で棚を起こして下さい)

- 棚全体の水平、垂直を出して確かめながら付属のレンチで本締めをしています。(表面参照)
- ※しっかり締め付けないと棚のグラつきが止まりません

- 本締め終了後、棚の設置場所に移動させて完成です。(転倒措置をしてください)



- ポイント! 最上段はアングルと棚板を水平に沿わせるように本締めし、その他の段は、手のひらで下向きに軽く叩いてから本締めするようになります。